

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		3-1-2			事業名	認知症サポーター養成事業	
担当	保健福祉局保健福祉部介護保険課 増子 Tel 211-2547						
全体計画							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症に対する市民理解の推進を図り、地域における認知症の方と家族への支援体制を整備するため、認知症の支援者(認知症サポーター)を養成する講座を開催する。</li> <li>認知症サポーター養成講座の講師(キャラバン・メイト)を育成するとともにその力量向上のため研修を実施する。</li> </ul>			＜年度別の事業内容＞			
				<p>【平成19年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成講座の実施 83回</li> <li>受講者(認知症サポーター)数 2,345人受講</li> <li>サポーター養成講座の講師(キャラバン・メイト)に対するフォローアップ研修の実施</li> </ul> <p>【平成20年度～22年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成講座の実施</li> <li>キャラバン・メイトの新規養成</li> </ul>			
事業内容	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(決算)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の実施 279千円</li> <li>キャラバン・メイト対象フォローアップ研修の実施 27千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の実施 590千円</li> <li>キャラバン・メイトの新規養成 67千円</li> </ul>			
事業内容	平成21年度事業内容(決算)			平成22年度事業内容(予算)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーターテキスト 502千円</li> <li>認知症サポーターリング※ 6千円</li> <li>※認知症サポーター養成講座の受講修了者に配布しているもので、認知症サポーターの目印であるオレンジ色の腕輪、別名オレンジ・リング</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症キャラバンメイト養成研修講師謝礼 66千円</li> <li>認知症キャラバンメイトテキスト 80千円</li> <li>認知症サポーターテキスト 360千円</li> <li>認知症サポーターリング※ 180千円</li> <li>※認知症サポーター養成講座の受講修了者に配布しているもので、認知症サポーターの目印であるオレンジ色の腕輪、別名オレンジ・リング</li> </ul>			
規							
模							
件							
数							
等							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-1-2			事業名	認知症サポーター養成事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
認知症サポーター養成数(累計)	1,862人	4,207人	7,052人	12,013人	17,000人	9,000人	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>■市民との連携、市民参加 サポーター養成講座は、キャラバン・メイト(市内介護事業所に従事する介護職員や、地域包括支援センター・介護予防センター職員、認知症の人と家族の会会員等)がボランティアで講師となり実施している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
<b>評価(成果)</b>			<b>課題</b>				
<p>・認知症サポーター養成講座…地域住民や企業等を対象に行う他に、本市(福祉職場)職員の認知症サポーターを平成22年度末までに1,000人養成することを目標とし、平成21年度は420人を養成した。</p> <p>・キャラバンメイトの養成…新規に120人養成するとともに、フォローアップ研修を実施した結果、認知症サポーター養成講座の開催数及び受講者数が増加した。</p>			<p>・認知症に対する市民理解の一層の推進のため、講師となるキャラバンメイトの養成を引き続き実施するとともに、その更なる活用機会等について検討する必要がある。</p> <p>・認知症サポーター養成講座の一層の周知のため周知機会及び方法を検討する必要がある。</p> <p>・市職員(福祉職場等)に対してのサポーター養成講座を実施し、認知症への理解を深め業務への活用を図る必要がある。</p>				
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>・マスメディアの活用等により事業の周知を図る。</p> <p>・個人単位でのサポーター養成講座申し込みに対応するため、ボランティア研修センターの取りまとめによる講座を開催する(4回/年)。</p> <p>・市職員サポーターを平成22年度中に600人程度養成する。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-1-2			事業名	認知症サポーター養成事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金					0				
	市の債					0				
予算	事業費	867	656	627	687	2,837				
	財源内訳									
	国・道支出金	526	399	375	412	1,712				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	341	465	508	—	1,314				
	財源内訳									
	国・道支出金	207	283	304		794				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の他	64	87	102		253				
	一般財源	70	95	102		267				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
19年度の認知症サポーター養成数の伸び率を考慮して20年度予算を計上していたが、実績が見込みを下回りテキスト代等の支出が少なかった										
[21年度]										
[22年度]										